

行政調査報告書「総務企画常任委員会」

令和元年7月17日～19日

■三重県津市『交通系 I Cカードによるマイナンバーカード取得促進について』



津市では、高齢者を支援するため、市内在住の65歳以上の人を対象に、マイナンバーカードの取得を条件に交通系 I Cカード（シルバーエミカ）を交付している。シルバーエミカは、1ポイント1円相当で三重交通グループの路線バスの運賃支払いに利用でき、毎年2000ポイントを上限に付与される。また、市内のコミュニティバスでは、提示するだけで無料乗車が可能となり、高齢者の外出を促進する。バス以外の用途の拡大など、工

夫の余地がある取り組みと感じた。

■兵庫県神戸市『オープンデータの蓄積、公開、活用によるまちづくりについて』

市民や事業者が I C Tを活用して地域課題を解決するオープンガバメント社会の構築を支援したオープンデータの蓄積・公開による行政運営を展開している。具体的な例として、民間と連携して、一人暮らし高齢者の健康状態を遠隔でチェックする実証実験等を行っている。



本市においては、I C Tなどを活用し、歳出を抑制しながら市民福祉の向上を図る自治体運営について研究していくことが重要であると考えている。

■大阪府岸和田市『合併入札（合冊）による競争性、公平性の向上について』



合併入札とは、関連性の高い2件以上の公共工事を1つにまとめて競争入札を行い、落札後に落札金額を分割して契約金額を算定し、それぞれで契約する方法である。

岸和田市は、平成25年より実施し、順調に推移している。本市においては、入札不調の解消を目的とした合併入札の導入について研究する必要があると考えている。